

Alva Duo

Manual Generated: 19/11/2024 - 10:38

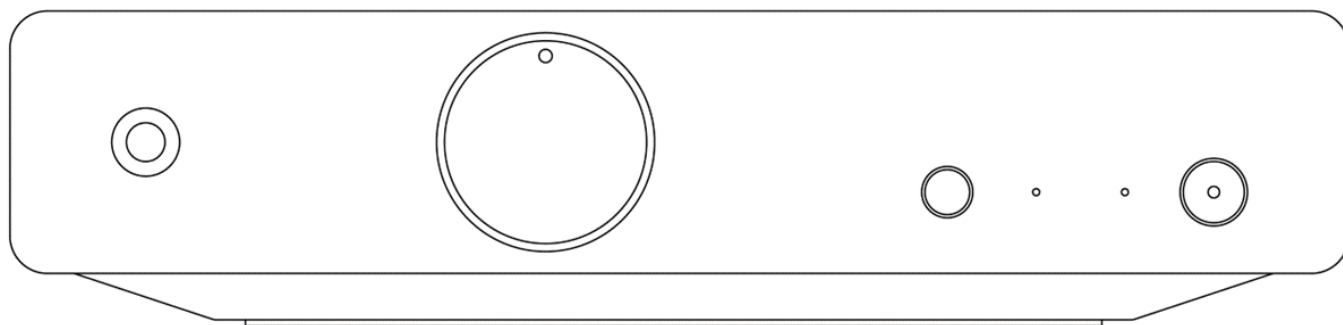


Table of Contents

Alva Duo	3
はじめに	3
Alva Duoに含まれるもの	4
フロントパネルコントロール	5
背面パネル	6
接続	7
自動電源切断（APD：Auto Power Down）	8
可動磁石カートリッジと可動コイルカード立地の違いは何ですか？	9
トラブルシューティング	10
技術仕様	11

Alva Duo

Last updated: April 23, 2024 05:14. Revision #12609



ユーザーマニュアル

はじめに

Last updated: July 13, 2022 09:21. Revision #5994

本ガイドは、本機を可能な限り速やかに、かつ簡単に設置し使用できるようにすることを目的に作成されました。本書に掲載の情報は印刷の時点でその正確性に万全を期していますが、継続的な向上がCambridge Audioのポリシーということもあり、設計や仕様は予告なく変更されることがあります。

本書には、著作権により保護された占有情報が含まれます。無断複写・転載を禁じます。当該の製造者の書面による事前の許可なくして、機械や電子、またはその他のいかなる方法によっても本書の一部または全部を複製することを禁じます。商標および登録商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。

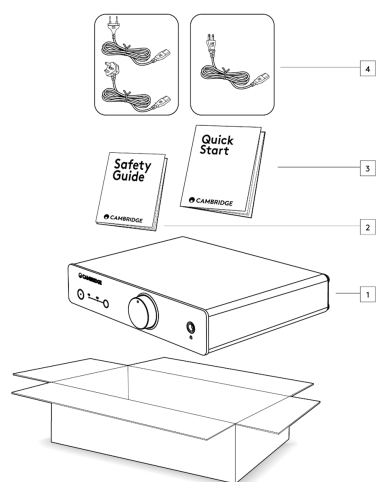
□ Copyright Cambridge Audio Ltd

今後の製品、ソフトウェアアップデート、限定オファーに関する今後のニュースについては、必ず <http://www.cambridgeaudio.com/register> で製品を登録してください。

Alva Duoに含まれるもの

Last updated: June 30, 2022 11:32. Revision #5993

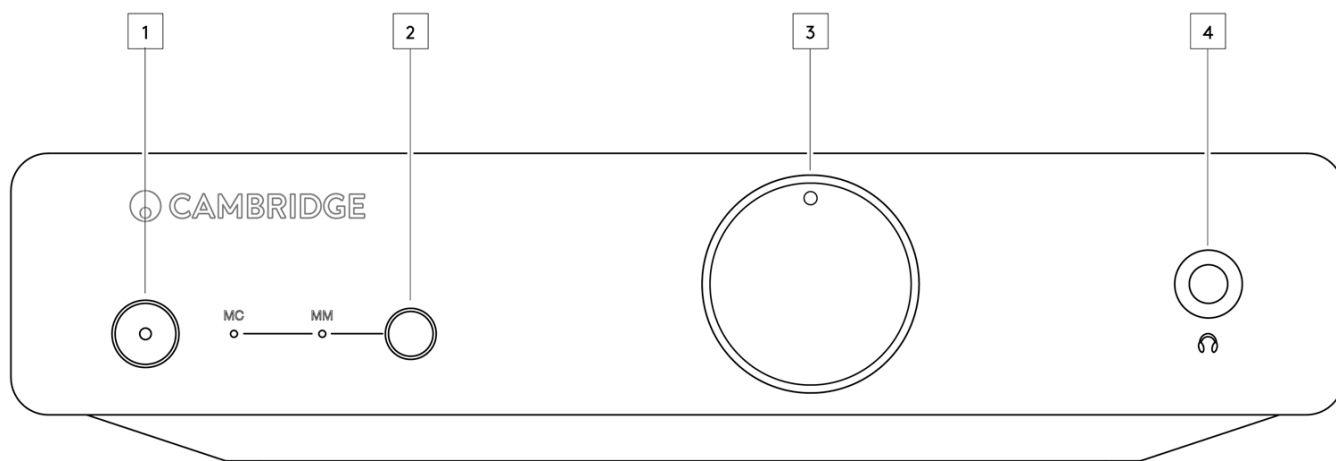
Alva Duoのパッケージには次のものが含まれます。



1. Alva Duo可動磁石フォノブリアンプ。
2. 安全ガイド
3. クイックスタートガイド
4. 英国の電源コード(5Aヒューズ) (Alva Duoがどの国で購入されたかによって異なります)
EUの電源コード (Alva Duoがどの国で購入されたかによって異なります)
CUの電源コード (Alva Duoがどの国で購入されたかによって異なります)

フロントパネルコントロール

Last updated: June 28, 2022 03:30. Revision #5992



1.スタンバイ/オン-スタンバイモード（暗いLEDで示されます）とオン（明るいLEDで示されます）を切り替えます。スタンバイモードは省エネモードで、消費電力は0.5W未満です。

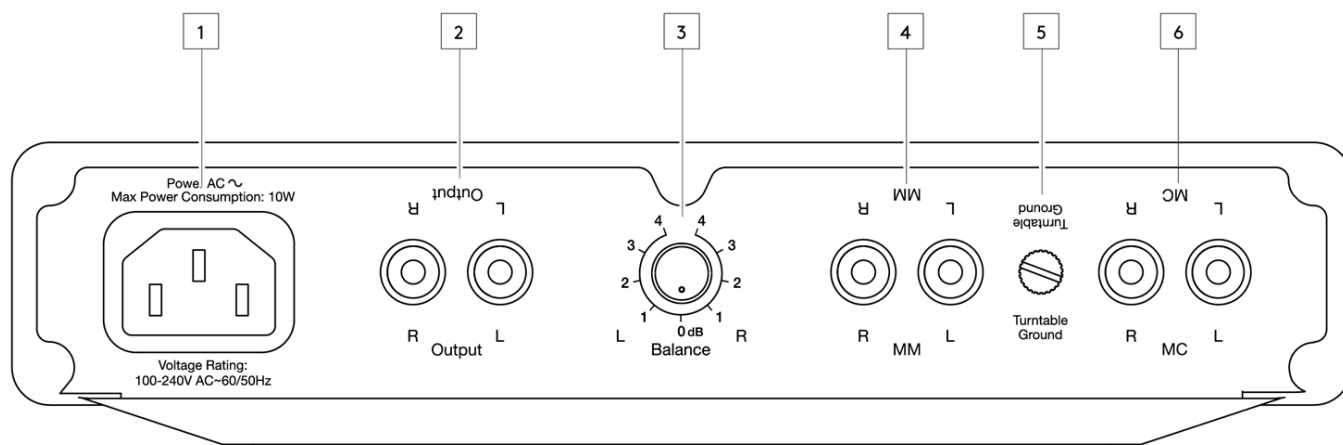
2.カートリッジタイプセレクトースイッチ - このスイッチをターンテーブルに取り付けられたカートリッジタイプに合わせます。「MM」は可動マグネットカートリッジを表し、「MC」は可動コイルカートリッジを表します。

3.ヘッドホンボリュームコントロール

4.ヘッドフォン出力-6.3mm標準プラグ付ステレオヘッドホンを接続できます。ヘッドホンはインピーダンスが32Ω 600Ωのものをお使いください。

背面パネル

Last updated: June 28, 2022 03:30. Revision #5991



1.AC電源ソケット

2.シグナル出力端子 - ラインレベル入力への接続に使用されるRCA接続。

注:アンプのフォノ入力端子には接続しないでください。

3.バランスコントロール-左右チャンネルの出力バランスを微調整することができます。センター位置にすると左右チャンネルの出力は均一になります。

4.MM入力ソケット - 可動磁石カートリッジを取り付けたターンテーブルに接続するために使用されるRCA接続。

5.お使いのレコードプレーヤーにアース線が付いている場合は、その端子をここに接続してください。それにより、トーンアームやプレーヤー内の電気回路が保護されます。

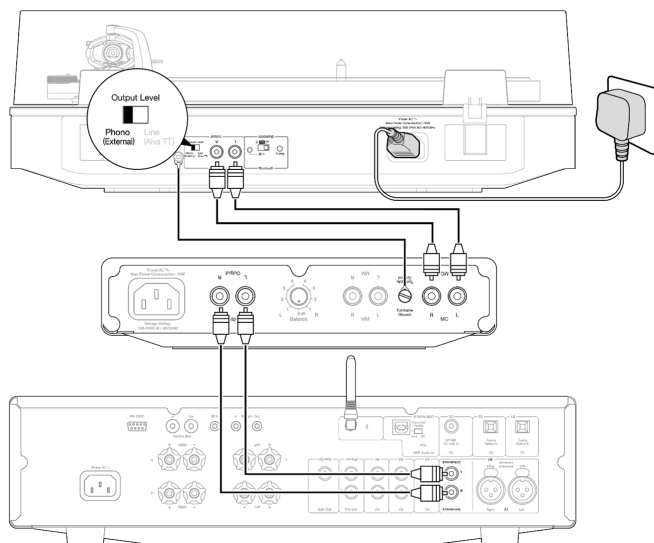
6.MC入力ソケット-可動こいるカートリッジを取り付けたターンテーブルにせず得するために使用されるRCA接続。

注:推奨カートリッジ仕様0.3-1mV出力電圧、100Ω/100pF負荷。

接続

Last updated: July 13, 2022 09:21. Revision #5990

初期設定



1. まず、高品質のRCA相互接続を使用して、ターンテーブルの出力を可動磁石カートリッジが取り付けられている場合はAlva DuoのMM入力ソケットに、移動コイルカートリッジが取り付けられている場合はMC入力ソケットに接続します。
2. ターンテーブルで別のアースリード線を使用している場合は、これをAlva Duoのアースねじに接続します。これにより、雑音やノイズの発生が軽減されます。
3. Alva Duoの信号出力ソケットをアンプのラインレベル入力に接続します。
4. バランスコントロールが中央の位置に設定されていることを確認します。これは、必要に応じて後で調整できます。
5. 主電源リード線をAlva Duoにしっかりと取り付け、ユニットの電源を入れます。
6. カートリッジタイプ選択スイッチを使用して、可動マグネットカートリッジで使用する場合はAlva DuoをMMに設定し、可動コイルで使用する場合はMCに設定します。これは、関連するLEDによって示されます。

自動電源切断（APD : Auto Power Down）

Last updated: June 28, 2022 03:30. Revision #5989

Alva Duoは自動電源切断（APD : Auto Power Down）を有効にした状態でセットアップされ、20分間使用しないと、自動的にスタンバイモードに切り替わります。

自動電源切断（APD : Auto Power Down）APDをオフにするには、スタンバイ状態にあるときに電源ボタンを5秒間押し続けます。その後、スタンバイボタンを押しながら主電源リード線につなぐと、工場出荷時の設定にリセットされます。

可動磁石カートリッジと可動コイルカード立地の違いは何ですか？

Last updated: July 13, 2022 09:21. Revision #5988

ターンテーブルのトーンアームに取り付けられたカートリッジは、ダイヤモンド製の小さなスタイラスチップを使用して、レコードの溝内に保持されている情報を信号に変換し、それを増幅して聴くことができます。

再生中、カンチレバーに取り付けられたスタイラスチップは、レコードの溝を一定の速度で引きずりながら、レコードの風景そのものをなぞります。溝内の物理的なばらつきが、このアセンブリを振動させ、この物理的な動きを電磁誘導によって電気信号に変換することができるのです。

電磁誘導とは、変化する磁界の中にインダクタを置いたときに起こる現象です。この磁界が変化すると、磁界の変化率に比例した電流がインダクタ内に誘導されます。この原理はカートリッジの機能に不可欠であり、磁石とワイヤのコイルを使用して達成されます。

移動磁気カートリッジ

可動マグネットカートリッジは、カンチレバーの端に固定された磁石を使用します。この磁石は静的なワイヤーコイルの中にあり、スタイラスがレコードの溝に沿って移動すると、コイルの中で移動します。

この動きは磁場の変動を引き起こし、スタイラスの動きに対応するコイル内に小さな電流を誘導します。この電流をフォノプリアンプで増幅して聴くことができます。

コイルカートリッジの移動

原理は可動コイルカートリッジでも同じですが、主な違いは、このアセンブリではコイルがカンチレバーに取り付けられ、磁石は固定されたままであることです。

このとき、磁石に対してコイルが動くことで磁界が変化し、小さな電流が流れます。このワイヤーは可動マグネットのカートリッジに比べると非常に小さく、そのため発生する信号もかなり低いレベルになる傾向があります。したがって、可動コイルカートリッジは、最適な性能に必要な追加のゲインを提供するために、専用のMC入力を備えたプリアンプを必要とします。

コイルは可動コイルカートリッジの片持ち梁に直接取り付けられるため、片持ち梁アセンブリ自体は可動磁石カートリッジのカンチレバーに比べてはるかに軽量です。この軽量設計により、過渡応答の改善、オーディオのより静かなセクション間の明瞭さの向上、全体的な再現のより詳細な再現に貢献します。しかし、このタイプのカートリッジははるかに繊細であり、多くの可動磁石カートリッジに見られるように、ユーザーが交換可能な部品を持たない傾向があります。

トラブルシューティング

Last updated: June 28, 2022 03:30. Revision #5987

電源が入らない

- 電源コードが機器本体にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- プラグが主電源に完全に接続され、電源が入っていることを確認します。
- 主電源プラグまたはアダプターのヒューズを確認してください。

音が出ない

- ユニットの電源が入っていることを確認します。
- ターンテーブルがAlva Duoにしっかりと接続されていることを確認します。
- Alva Duo とアンプの接続がしっかりとできていることを確認します。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。

一方のチャンネルから音がしない。

- スピーカーの接続と相互接続を確認します。
- Alva Duo バランスコントロールが一元的に設定されていることを確認します。

大きなバズ音またはハム音がある

- アースリード線(存在する場合)がターンテーブルとAlva Duoの両方にしっかりと接続されていることを確認します。
- すべての相互接続が安全な状態で無傷であることを確認します。
- ・レコードプレーヤーがアンプから少し離れたところに設置してあることを確認してください。

低音が弱い、またはステレオイメージが拡散している

- 位相外にスピーカーが接続されていないか確認してください。

スピーカーから出る音量が大きすぎる、または小さすぎる

- 使用しているカートリッジタイプが、接続されている入力の種類と一致していることを確認します。

技術仕様

Last updated: July 13, 2022 09:39. Revision #5995

最大消費電力:

10W

待機時消費電力

<0.5W

入力電圧

交流100-240V

ゲイン@1kHz

39dB(可動磁石)

60dB(可動コイル)

公称出力

300mV

公称感度

39dB(可動磁石)

60dB(可動コイル)

入力換算ノイズ (A特性)

~0.09uV (可動磁石)

~0.08uV (可動コイル)

RIAAカーブ精度

+/- 0.3dB 30Hz - 20kHz

SN比 接地入力基準値1V出力 (周波数帯域20-20,000Hz) 1V出力(20Hz - 20kHz BW)

>90dB(可動磁石)

>70dB(可動コイル)

THD+N 1kHz (20Hz - 20kHz BW)

<0.0025% (可動磁石)

<0.020% (可動コイル)

入力インピーダンス

47kOhm(可動磁石)

100Ohm(可動コイル)

入力容量

100pF

過負荷マージン

>30dB

クロストーク(20kHz)

>85dB(可動磁石)

>75dB(可動コイル)

サブソニックフィルター特性

-3dB @ 15Hz 12dB/octave

寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)

48 x 215 x 159 mm (1.9 x 8.5 x 6.2 ")

重量

0.95kg (2.1lbs)